

## 不登校対策校内委員会を中心とした対応について

### 【東村山市立 A 中学校の取組】

#### 不登校生徒の状況

家庭との連絡や面談等を適宜行い、個に応じてスクールカウンセラーや子ども相談室、希望学級（教育支援センター）、医療機関等での相談を勧めている。タブレット型端末を活用した支援も並行して行っている。

#### 具体的な取組

##### ○タブレット型端末の活用

・タブレット型端末を使って、授業をオンライン配信できる環境を整備している。また、オンライン授業の参加が難しい生徒に対しては、放課後に学年教員とのオンライン面談を実施している。

##### ○関係機関との連携

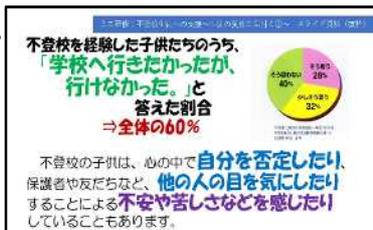
・希望学級（教育支援センター）指導員が週1日来校し、不登校生徒と一緒に学習できる環境を整備している。利用する生徒の定期的な登校につながっている。  
・SSWや子ども相談室等の関係機関と連携して不登校対応を行っている。

##### ○非常勤教員による生徒状況の把握

・今年度から配置の非常勤教員に依頼して、全学級の授業観察を行い、不登校のリスクがある生徒を把握して、不登校対策校内委員会で共有し個に応じた支援方策を検討している。

##### ○校内研修の充実

・不登校対策校内委員会において、不登校対応や特別支援に関するミニ研修を実施している。今後は、全教職員が協議できる研修を計画している。



#### 成果

○教職員間における意識の共有化を図ったことで、生徒は全学年で落ち着いた学校生活を送ることができている。また、生徒が主体的に行事等に取り組む環境を整備することで、生徒の絆づくりを推進することができた。

○学年を超えて複数で対応方針を協議することで、教員個人の負担軽減と組織的な対応に寄与した。

#### 課題

○登校しても教室に入れない生徒に個別対応するための場所や教員の確保、不登校生徒の学習保障等について、引き続き整備する必要がある。